

令和7(2025)年度

学 術 研 究 助 成

募集要項



持続可能な未来のために、あなたの研究が輝く！



公益財団法人
令和環境財団

1.代表理事挨拶

環境問題は歴史が浅く、国際的な環境問題に対する取り組みとしては、1960年代から開始され、1972年に国連人間環境会議の開催と国連環境計画の設立が行われました。また日本においては、1971年に環境省が設置され、本格的に環境問題への取り組みがなされてきました。

当時は、産業公害問題、都市・生活型環境問題と、限られた地域での環境問題でしたが、この数十年の間に広がるスピードは速くかつ解決までに時間を有する地球環境問題となり、問題解決には長期的な視点でかつ国境を越えた地球規模での対応策が必要となってきました。

そこで我々は、この長期的でかつ広域的な環境問題を解決していくためには、柔軟なアイデアを持った若くて優秀な人材を育てていく必要があると考えております。そのためにも、我々の役割として、環境保全（技術）に関する学術研究への助成を行い、環境教育等の振興を図り、持続可能な社会の実現に向けて、未来の子供たち、地域社会、日本、地球環境へ貢献する人材を育成できる環境づくりを整備するために、財団法人を設立し、令和5年4月に内閣総理大臣より公益法人として認定をいただきました。

当財団はこれからより一層、学術研究助成を通じて循環型社会の実現に向けた取り組みを支援し、社会の持続的な発展に貢献する活動を行っていきます。

公益財団法人令和環境財団

代表理事 小沢 常浩



2. 学術研究募集要項

①. 応募資格

- ・ 令和7（2025）年4月2日現在、国内の大学院博士課程に在籍する研究者で35歳以下の方
- ・ 国籍は問いませんが、博士論文提出までの居住地が日本国内の方。
- ・ 日本語で助成金申請書の記入及び事務局との対応ができる方
- ・ 申請する研究内容は、環境分野における博士号取得を目的としたものであれば、今後着手する研究、すでに研究途上にある研究のどちらでも構いません。

②. 対象期間

令和7（2025）年4月1日から令和8（2026）年3月31日までに実施予定の研究を対象とする。

③. 助成金額・使途

1名（複数名での応募の場合、1件）あたり50万円を上限とします。（6名（件）程度）

※助成金は、助成が決定次第、申請者本人の口座に送金いたします。

※助成金の使途は限定しません。ただし、大学等申請者が所属する組織の間接経費、一般管理費等は助成の対象外となりますのでご注意ください。

④. 応募方法

※今年度よりHPからの応募受付を始めました。



HPからの応募方法

STEP1

- ・ 当財団HPの募集要項へアクセス
<https://reiwa-kankyo.org/application>

STEP2

- ・ Googleフォームより申請事項の入力
- ・ 所定フォーマット（助成金の支出金額、直近の研究費の収支状況について、推薦状）のアップロード

STEP3

- ・ 申込完了メールを受信したら助成金申請の受付は完了になります。



助成金申請書の提出による応募方法

STEP1

- ・ 当財団HPの募集要項へアクセスし助成金申請書一式をダウンロード
<https://reiwa-kankyo.org/application>

STEP2

- ・ 申請内容及び申請者情報を入力

STEP3

メール添付でのご提出の場合

- ・ メール添付にてinfo@reiwa-kankyo.orgまでお送りください。

郵送でのご提出の場合

下記の住所宛に書類を送付ください。
〒107-0062
東京都港区南青山六丁目6番22号
クレスト・イシイ2階
公益財団法人令和環境財団 学術研究助成係宛

⑤.選考、選考結果の通知

当財団の選考委員会による公正な選考を経て、理事会にて決定を行い2025年7月末までに選考結果を文書にて応募者にお知らせいたします。

⑥.被助成者の義務

- ・ 助成期間中に一度、研究の進捗についての中間報告書を、助成期間終了後1か月以内に完了報告書を提出していただきます。（各A4用紙で2枚程度）
- ・ 博士号取得後、学位取得論文を提出していただきます。また、その研究成果を当財団が発行する刊行物、ホームページ、開催する講演会などにおいて発表していただくことがあります。
- ・ 助成金の使途について、領収書を添付のうえ会計報告書を提出していただきます。
- ・ 助成金の使用内容が申請内容と著しく相違した場合、中間報告書及び完了報告書の提出がない場合、事情によって博士号取得に至らないことが明らかになった場合には、助成金を返金頂くことがあります。

⑦.その他注意点

（被助成者名、助成対象研究課題等の公表）

助成対象となった場合、被助成者名、所属、研究テーマ、研究内容、助成金額等を公表させていただくことがあります。

※開示内容につきましては事前にご連絡いたします。

（研究成果の帰属先及び助成者の進路）

当財団は被助成者が行った学術研究に対し権利の主張は行わず、権利は放棄します。

また、被助成者の卒業後の進路に当財団は関与いたしません。

（個人情報の取扱い）

申請書類に記載いただいた個人情報は、本要項に記載の用途を除き、当財団の審査に関する業務にのみ使用し、それ以外には使用いたしません。

（申請に要した費用）

申請に要した費用は申請者の自己負担となります。

（推薦者への連絡）

必要に応じて、推薦者に直接お問合せをさせていただくことがあります。

（審査結果、内容等の照会）

審査結果や審査内容についてのお問合せにはご対応いたしかねますのでご了承ください。

申請受付：令和7（2025）年4月1日（火）～5月31日（土）当日消印有効

3.活動実績

令和5年度実績

三重大学大学院 草地・飼料生産学 股村 真也さん

私は持続可能な肉牛生産を支援するため、デンブンの利用効率をAIの活用により簡易に推定する方法を開発している。本助成金により、AIモデル構築のための機材を購入することができ、糞中デンブン含量を簡易に定量できる可能性を示した。

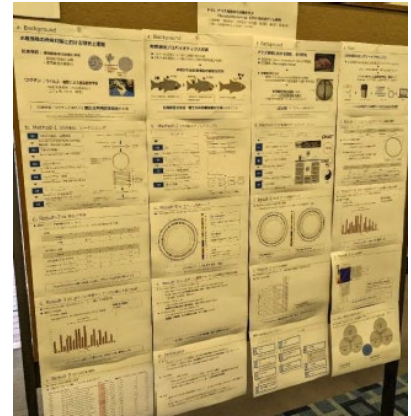
- 助成金の主な用途：
解析に用いるパソコンの購入費、学会参加及びサンプリングする際の旅費



三重大学大学院 水産物品質学研究室 児島 美穂さん

本申請研究では、これまでにCFS9株のゲノム解析をバイオインフォマティクス的手法を用いて行った。具体的には、ゲノム特徴マップ、系統樹、ANI、GGDC解析を行い、その結果から、CFS9株が新種であることが示唆されている。今後はCFS9株の新種記載を行い、エドワジエラ病原細菌に対する阻害物質と遺伝子の同定を進め、魚類の病気防除技術の確立を目指す。

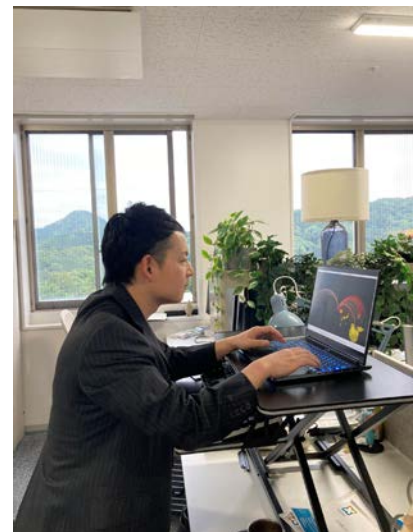
- 助成金の主な用途：
解読及びアセンブリ作業の外部委託費、研究に使用する消耗品の購入費、論文投稿費



九州大学大学院 馬奈木研究室 篠原 宣道さん

近年、欧州連合（EU）が推進する企業の持続可能性に関するデューデリジェンスにより、企業はサプライチェーンの川上における人権リスクを考慮するようになってきている。本研究では、九州大学都市研究センターが提唱するMRSEIO（Multi-Regional Socially-extended InputOutput）を用いて、国別・産業別の包括的な社会的人権リスク負担の傾向を明らかにすることを目的とする。分析の結果、人権侵害リスクの中央値は高所得国（HIC）の方が上位中所得国（UMIC）よりも高いという逆転現象が確認された。

- 助成金の主な用途：
研究に使用するオフィス機器の購入費、分析に用いる解析ソフトの購入およびデータライセンス費

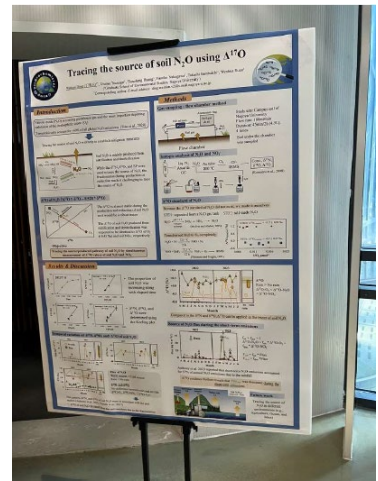


名古屋大学大学院 角皆・中川研究室 丁 璋天さん

この助成によって、ガスポンプの購入や採取チャンバーを作成し、土壌より放出されるN₂Oの年間変動が調査できまして、N₂Oの $\Delta^{17}\text{O}$ は、土壌N₂Oの生成過程推定に有用だと結論しました。また、助成によって、この研究成果を中国の南京大の若手討論会でポスター発表や日本地球化学会で口頭発表しました。

●助成金の主な用途：

サンプリングに使用する消耗品費、研究成果学会発表に伴う旅費等

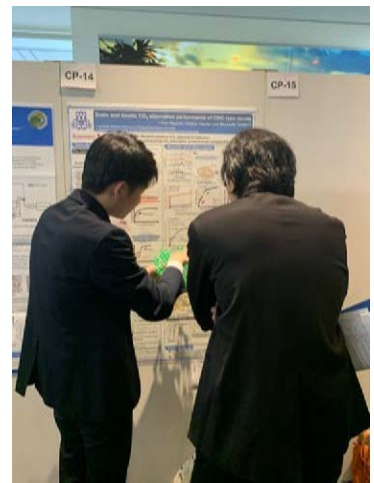


関西大学大学院 分離システム工学研究室 樋口 雄斗さん

私は、「ゼオライト」とよばれる無機多孔質材料が示す特異なCO₂吸着挙動に関して研究しています。現状、ゼオライト合成に加えて、Spring-8や計算化学などを駆使して多角的な観点からCO₂吸着メカニズムの解明に従事しています。

●助成金の主な用途：

研究に使用する消耗品及び化学薬品の購入費

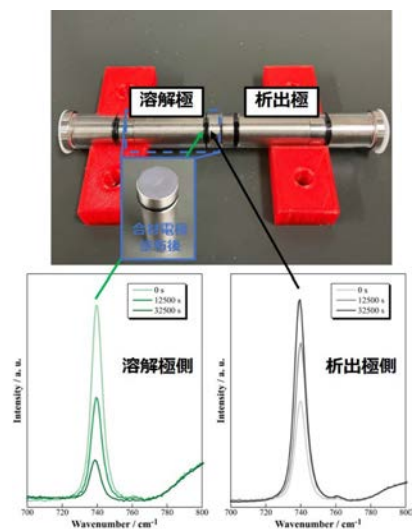


工学院大学大学院 電気材料化学研究室(関研究室) 平岡 紘次さん

電極反応に伴う高分子固体電解質内の濃度変化をその場で観測できるオペランドラマン分光計測を基軸として、これの合材電極に含まれる活物質における充放電反応による構造変化の抽出への適用、及び実用Liイオン電池との相補的評価を進めている。

●助成金の主な用途：

オペランドラマン分光計測に使用する専用セルの購入費、その他消耗品及び備品購入費等



液系セルの外観と実験成果のイメージ図。

※当財団HPの活動報告にてすべての活動実績をご確認いただけます。

<https://reiwa-kankyo.org/activities>

4.財団概要

①法人概要

法人名	公益財団法人令和環境財団
代表理事	小沢 常浩
設立年月日	令和4年3月16日 (令和5年4月7日 内閣総理大臣より公益認定)
住所	東京都港区南青山六丁目6番22号 クレスト・イシイ2階
電話番号	03-6427-6627
URL	https://reiwa-kankyo.org/

②役員名簿

代表理事	小沢 常浩	株式会社小沢資産ソリューション 代表取締役
理事	馬奈木 俊介	国立大学法人 九州大学 都市システム学 教授
理事	古瀬 智之	公益財団法人日本健康アカデミー 理事長
評議員	木下 通夫	元県庁職員
評議員	中瀬 心之介	循環資源ホールディングス株式会社 代表取締役
評議員	粟村 圭吾	みのり税理士法人 代表社員
監事	小池 貢樹	株式会社FORTIS 代表取締役

5.お問合せ

公益財団法人令和環境財団 学術研究助成係

〒107-0062

東京都港区南青山六丁目6番22号 クレスト・イシイ2階

MAIL : info@reiwa-kankyo.org

※お電話ですと、どうしても担当者が不在の場合等、ご対応がすぐにはできかねる為、応募者の皆様に確実にご対応させて頂くため、メールにてお問合せをお願いいたします。

何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。



公益財団法人
令和環境財団

